

方法と手段とを以て、その排撃と指導と下にある大衆との協同戦線と勇敢に且有効に行けねばならぬ。

## 第六、日常経済闘争に關する方針

(1)

労働者階級の日常経済上における利益を擁護しこれを向上せしめる爲め、日常経済闘争を忠実に果敢に代表し指導して闘争することにより、かゝる闘争を党指導の下に政治闘争にまで総合発展轉化せしめ、これは労働組合の最も重要な第一任務であり、これを行わねばならぬ。

かくして今や混合型から脱却し得るに至つた、我評議會は、かゝる任務の遂行に堪へ得るに至つたのである。又かゝる新なる任務遂行のため、努力を傾中せしめねばならぬのである。

(2)

而して中央委員会の報告によつて明らかたる如く今日の政治的、経済的状況は、労働者階級の生活に擁護し向上せしめる必要は、闘争と、産業的、地方的に廣範に、一かり果中の統一の激発し、指導せしめねばならぬと同時に、かゝる闘争は、政治的、経済的、不可分の結合であり、而してこれと政治闘争とを、發展轉化せしめることを、なしては充分に闘争し得ぬのである。

組合主義、折衷主義者の諛詞乃至曲解は、さうである。即ち左翼は、経済闘争を放棄して政治闘争一撃張で進まんとし、と云ふ虚構と中傷の原因の一つは、彼等が今日の政治的、経済的状況に盲目であり、経済闘争も、政治的闘争と結び、政治闘争にも發展轉化せしめることを、なしては、日常経済上における利益を、充分に獲得し得ぬといふことを、忘却、或は故意に考へやうとせぬからである。

(3)

経済闘争は資本主義の没落期に於ては、政治的権力に直而し且人間の生活條件を益々荒廃せしめ、丸めか爲めに、資本主義の平和的發展の時期に於て起り之より、より急速に容易に政治闘争に於ける大衆行動の経験は、政治闘争の最も重要な手段と看するものである。

(4)

日常経済闘争と政治、果敢に指導し、この闘争を遂行することは、労働者大衆をして、一彼等が如何なる政党、及組合に組織し、指導せしめてあるかを問ひ、或は未だ組合に組織されざる未組織大衆に、一左翼労働組合を信頼せしめ、彼等と吾々の影響の下におき、更に大衆をして、かゝる闘争の経験によつて、資本主義に對する共同の闘争に参加し、結合せしめ得るに至らざるである。

(5)

しかし、吾々も、日常経済闘争と政治闘争に關する若干の誤解を正しておかねばならぬ。